高退教 岡山

第 155 号
2018 年 10 月

岡山県高校･障害児学校
退 職 教 職 員 の 会
〒703-8258
岡山市中区西川原255番地
岡山県教育会ビル3F 岡山高教組気付
TEL (086)272-2245
Fax (086)272-2242

目　　次

児島高校生徒会制作「青春の軌跡」がユーチューブに
…… 備西支部　清水 親義　1

今日も続くメガソーラー建設工事　…… 美作支部 岡本 昌弘　3

特集　教育講演会あれこれ

【子育て・教育のつどい】　…… 岡山支部 山本 和弘　5

【シカゴ＆岡山教育交流のつどい】　…… 岡山支部 山本 和弘　6

【相談ネットワーク教育講演会】　…… 岡山支部　美甘 晃　8

無謀な世界一人旅（第３回）　……備南支部 正保 宏文　9

編集後記

児島高校生徒会制作「青春の軌跡」がユーチューブに

―「青春の軌跡音声」と入力して検索！ ―

備西支部　清水 親義

「青春の軌跡」とだけ入力すると，色々なものが表示されて面倒です。そこで「青春の軌跡音声」と入力するわけです。正確には「青春の軌跡（音声・画像修復版）」なのですが，全部入力する必要はありません。そして，この記事のそばにある画像が表示されましたら，それをクリック（タップ）してください。再生が始まります。なお，映画タイトル文字は，現岡山高退教事務局長藤原斌氏の筆によるものです。

この映画は，１９７８年の「児高祭」での上映を目指して作られたものですが，後に「日本を記録する８㎜フェスティバル」で大賞を受賞し，その後「文部大臣賞」など各種の賞を受けたため，山陽新聞や赤旗日曜版で特集が組まれるなど，大きな話題となりました。私は，この後３年間児島高校におりましたが，その間は，全国からの貸し出し依頼にこたえるため，フィルムのコピーを持って，数日おきにクロネコヤマトへ通うという状態が続きました。

しかし，山陽新聞の特集記事が，映画の素晴らしさを紹介する一方で，最後に「高校教育に咲いたあだ花か」と付け加えざるをえなかったように，当時の教職員がこの映画を受け入れる雰囲気は少なく，またNHK で冒頭の数分が失われたこともあったりして，なにかしら寂しい運命を予想せざるを得ませんでした。転勤後も私のところへ問い合わせがあったくらいですから，推して知るべしだったと思います。

しかし，それによってこの映画の価値までも失われた訳ではありませんでした。

今回，当時の生徒会長で脚本・監督を担当した迫田雷蔵氏の同意を得てユーチ

ューブにアップすることが出来たのです。次が迫田氏が同級生に向けて書いたコメントです。（顔写真は，日立総合経営研修所 HP からお借りしました : 編集係）

本来なら，出演者，スタッフの皆様全員の同意を得るべきところですが，誠に勝手ながら，監督・脚本を担当した私の同意でアップ頂くことと致しました。

母校自体が統合によってもはや残っておらず，８ミリのフィルムの劣化も激しいので，こうすることが，唯一映画を皆様のところにお届けし，後世に残す手段と考えました。（中略）私自身，40 年ぶりに本作を見て，高校時代を思い出しました。映画を一度も作ったこともないメンバーで，受験間近な高校三年の夏を潰して映画を制作し，児高祭での上映に漕ぎ着けました。結果として様々な賞を頂きましたが，皆様と過ごした濃密な時間こそが，何にも代え難い財産です。本作に関係した皆様，同じ時間を共有した皆様には，是非見て頂き度いと思います。

なお迫田氏の当時の並外れたリーダーとしての資質が，現在の日立での活躍につながっていると今回改めて思ったところです。

映画は総合芸術と言われますが，彼とその仲間がどのようにしてあれだけの多彩なスタッフを集めることができたのか，生徒会顧問として常に側にいた私にさえ想像出来ません。優等生から，いわゆるワルまで役者に揃え，前編に流れる音楽の作曲から演奏・歌に至るまで全て生徒の手で作り上げたのです。

脚本印刷と機材運びが私の役割になっていましたが，何度も何度も書き換えられる脚本など彼らにとってはほんの一部に過ぎなかったのでしょう。校内の才能を結集させたその組織力は驚嘆に値します。

”地 元 の 人 々 の 知 ら な い う ち に“

今 日 も 続 く メ ガ ソ ー ラ ー 建 設 工 事

美作支部　岡本 昌弘

私たちが作東メガソーラー発電所計画を知ったのは，2016 年 3 月のことでした。パシフィコエナジーという外資企業の下にパシフィコエナジー作東合同会社ができていること，開発面積約 410ha，パネル面積 210ha，三つの区域に分かれており，売電先は中国電力というものでした。

同年 12 月，私の住む竹田地区の臨時総会で，全戸（73 戸）に諮ったところ，賛成 5，白票 5，反対 50 という結果で，反対の立場で事に当たることを決定しました。

美作市は，同年 12 月市議会において，質問に立った本城議員への答弁は，地元の反対の意思は十分尊重するというものでしたが，同年 12 月 26 日，業者と美作市は事業実施協定書を結びました。

17 年 1 月から 2 月にかけて，開発許可を与えないよう，県知事あて反対署名を集め，2 月 14 日，山陽新聞県庁記者クラブ所属記者同席のもと，中山間地域振興課長に約 1,250 筆を手渡しましたが，残念なことに，3 月中旬，岡山県は開発許可を出し，17 年 5 月より工事が始まり，現在約５０％の進捗率で，日曜以外は山の上で工事の音がしています。

そもそも，美作市旧作東町中部の山家川流域の山は，今から約 35 年前ゴルフ場を作るということで買収され，

各沢の防災工事（えん堤）が行われた後，事業者が撤退。何回か所有者が変わり，私たちの知らないところで，パシフィコエナジーの手に渡ったようです。

農地は農地法によって守られますが，山林は届け出なしで売買ができるわけで，全国的に広がっている規模の大きい太陽光発電は，“地元の人々の知らないうちに”が多いと思われます。

何十万年とかかって出来上がった地形をわずか一年余りで同じ傾斜に造成すると，何が起きるかわかりません。様々な問題を含んだ作東メガソーラー発電所の工事は，今日も続いています。

毎日新聞　2018年（平成30年）5月30日（水）

メガソーラー「環境悪化」

山間部に次々 住民提訴も

森林での大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設を巡り、環境や景観を悪化させる恐れがあるとして、住民が反対運動をするケースが全国で相次いでいる。背景には、太陽光ブームで山間部に開発の手が伸びていることがある。環境にやさしいとされる再生可能エネルギーが環境破壊の懸念を生み出す皮肉な状況になっている。【高橋祐貴、写真も】

4年で12倍 土地不足

岡山県北東部にあり、緑豊かな山が広がる美作市。東京のエネルギー会社が国内最大級の出力257メガワットのメガソーラーを建設するため山を切り開いている。約410ヘクタールの斜面に約75万枚の太陽光パネルを設置する計画で、来秋に稼働予定だ。

「古里の水が汚されて悲しい」。地元で農業を営む男性（67）は憤る。男性らは昨年2月、工事を許可しないよう約1250人分の署名を県に提出した。だが許可は出され、3カ月後に工事が始まった。

雨が降ると土砂が川に流れ込み、畑の貯水タンクは泥で詰まるようになった。野菜は生育不良になり損害は数百万円に上るという。

男性は環境破壊を訴えているものの、工事が止まる気配はない。工事と川の土砂との関係について、この会社は「コメントは控える」としている。

福岡県飯塚市では、山でのメガソーラー計画に住民が反対運動を展開。「九州北部豪雨と同程度の雨が降れば土砂崩れが起きる」などと不安を訴えている。事業者は説明会を開いて理解を求めているが、折り合いは付いていない。

愛知県東浦町では今年3月、森林伐採で住環境が悪化したなどとして、建設予定地の周辺住民や地権者ら約20人が県に対し開発申請を許可しないよう求めて提訴した。

背景にあるのが土地不足だ。東日本大震災後の2012年、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度が始まり、電力会社が10～20年間、一定価格で発電を買い取ることになった。環境への影響を調査・予測・評価する

山や森でのメガソーラーの建設計画を巡る主な反対運動

場所	概要
山形県飯豊町	地滑り地帯で水源地もある地域での外資系企業による開発計画に、町長が反対を表明。
静岡県伊東市	山林での計画に反対し、環境保全を訴える住民らが県などに署名を提出。市議会も反対を決議。
愛知県東浦町	森林約2万平方㍍を造成する計画に対し、住民らが開発申請の不許可を県に求めて提訴。
滋賀県高島市	山林などでの計画について、地下水脈への影響や景観破壊を懸念し、市民団体が中止を求める署名を県などに提出。
福岡県飯塚市	住民らが建設反対を訴える意見書を市に提出。昨年の九州北部豪雨と同等の雨が降れば、土砂崩れが起きると主張。

メガソーラー建設の問題点を報じる「毎日新聞」記事

特集　教育講演会あれこれ

【子育て・教育のつどい】

「みんなで子どもたちを育てよう
―いま求められる，本物の教育力」

岡山支部　山本 和弘

5 月 13 日（日），おかやま西川原プラザで，「子育て・教育のつどい」が開催され，のべ約 160 名が参加しました。午前中，山本由美先生（和光大学）を講師に「みんなで子どもたちを育てよう　いま求められる，本物の教育力」と題する記念講演がありました。

先生は，「全国学力テスト，学校選択制，学校統廃合，小中一貫教育などの現代の新自由主義教育改革について批判的なスタンスで調査研究し，それらが子どもに与えるダメージについても研究対象に」（和光大学 HP より）しておられます。その立場からの豊富な資料と克明な分析は興味深く，私たちが，目の当たりにしている学校状況の重苦しさやしんどさ，日頃うすうす感じていた不満や疑問点が，どんな背景・どんな力によってもたらされたものか，腑に落ちた思いがしました。

冒頭「今，子どもたちは」を概括。学力テスト体制の強化や，「ゼロトレランス（不寛容）」＋「特別の教科」道徳がおし進められ，（子どもが）なぜそのような行動をとるのか，そうせざるを得ないのかといった，内面への指導は無視・軽視され，表面上の従順さや形式的な「型」が優先される流れが強まっていると指摘されました。教師との人間的なふれあいの中でのみ人格は形成されるのに，それをないがしろにして，「外から価値を教え込む」「心はどうであろうと，形や態度を重視する」ことが優先されているのです。

そのもとで，小学生の不登校，いじめ，暴力がうなぎ登りに急増しているそうです。この傾向は，2012 年頃から顕著で，「（教育研究者の）業界」では「2013

年問題」と呼ばれ，この年，全国一斉学力テストが悉皆方式とされたことと符合しているといいます。

「学力テスト体制」とは，「新自由主義教育改革（06-07 年）―競争的環境作りによる公教育づくりの再編」と位置づけた上で次のように定式化されました。

「経済的な目的のために国家が決定した教育内容に関わるスタンダードの達成率に基づく学校間・自治体間の競争の国家による組織を内容とし，エリートと非エリートの早期選別を目的とした，徹底した国家統制の仕組み(中略)同時に新しい市場の創設をめざす」――そのものズバリだと感じました。

英米ではすでに，次のような新自由主義的な教育改革が進められて久しいそうです。①アカデミックなスタンダード，②スタンダードに基づいた一斉テスト，③テスト結果等に基づく学校・教員評価，④学校選択制，学校統廃合，⑤教育バウチャー制度，⑥校長のリーダーシップ拡大，トップダウンを下支えする「学校参加」制度。――日本で進められているのは，その後追いだと合点がいきました。

いま，「小中一貫」校化を含む学校統廃合がすすみ，コスト削減動機が教育の条理に優先されていますが，統廃合を率先して進めたアメリカ・デトロイト市では，学力テストの結果により学校を廃止した地域が無人になり，かつてあった美しいコミュニティが消滅したそうです。一方，シカゴ市では，学力テストと学校統廃合に反対して，教員組合，保護者，地域住民の運動が発展し，教員組合は 7 日間のストライキを決行。市民がそれに共同し，2 万人以上のデモ行進が行わる大運動になったそうです。新自由主義的な経済政策を批判的に学習するメンバーが，教員組合で徐々に主導権を握り，「社会的正義のための教員組合」の立場を鮮明にして，最もダメージを受ける層と共同していくことで対抗軸を形成していったという指摘に，感銘を覚え，一縷の希望を見る思いがしました。

【シカゴ＆岡山教育交流のつどい】

サラ先生に聞く アメリカの教育事情

岡山支部　山本 和弘

7 月 27 日，おかやま西川原プラザでひらかれた「シカゴ＆岡山教育交流のつどい　サラ先生に聞く アメリカの教育事情」に参加しました。主催は，おかやま教育文化センター。参加者は約 40 人で，高退教会員のほか，義務制の退職者の方々

も，多数お見受けしました。反面，現職教職員の姿がほとんど見られなかったことは，示唆に富む刺激的なひとときだっただけに残念でした。

今，日本の学校と教育，子どもたちと教職員を追い立てている「新自由主義的教育改革」が，先行して進められてきたアメリカでは，学力テストの成績を学校統廃合に結びつける動きに，広範な教職員，市民，生徒達が立ち上がりました。運動の先頭に立った若い女性教師サラ・チェンバース先生（シカゴ教職員組合）らは，当局ににらまれて馘首されますが・・・・。

ちょうど来日中のサラ先生をお招きするというこの企画は，前掲の「子育て教育のつどい」での講師，山本由美先生（和光大学）の仲介によって実現したもの。

アメリカで進行する「新自由主義教育改革」の猛攻と，教職員・父母・子どもたちの連帯・共同による反撃のたたかいを，生々しく，しかし楽天的に語るサラさんは，こう断言されました。

「日本でも，必ず同じような事態が起こるでしょう」

「日本の人たちは，礼儀正しく従順だと聞きます。しかし，この（学力テストの成績を教師の評価と結びつけ，学校を潰していく)攻撃は，従順なだけでは食い止められません。肝心なのは，その攻撃が，学校，生徒にどのような害をもたらすかを明らかにし，父母，生徒，市民に広く知らせ，ともに立ち上がることです。

最後にサラさんは参加者全員に起立を促し，次の CHANT をみんなで唱和しました。

They say cut back.
We say fight back!
They say cut back.
We say fight back!

彼らは「削減する」という。
我々は「反撃する」という。
彼らは「削減する」という。
我々は「反撃する」という。

とても刺激的な，しかも楽天的で痛快なお話に，元気をもらいました。

【相談ネットワーク教育講演会】

近代家族と子育て～女・男・子どもの関係の中で考える～

岡山支部　美甘 晃

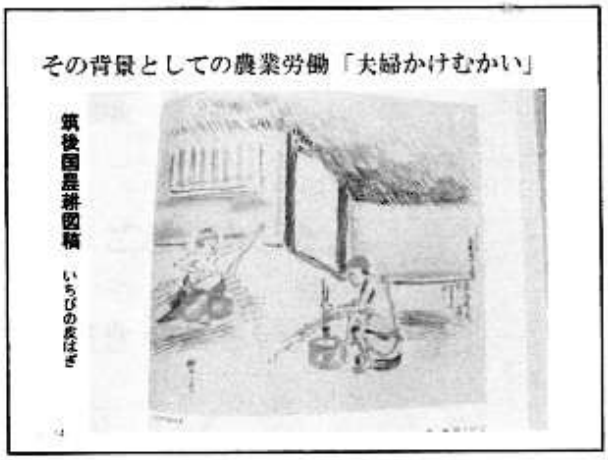
9月1日，子育て・教育何でも相談ネットワーク主催の教育講演会が岡山市中区の林病院ひまわりホールで開かれ，約30名が参加しました。

講師は沢山美果子さん（岡山大学大学院客員研究員）。先生ご自身，研究活動と子育てを同時にはじめられたということで，大いに説得力のあるお話となりました。

歴史的に見て，「子育て」というものは男女共同でしかも地域社会の共同の中で行われていたものが，明治以降，男性が企業や軍隊など家の外で就業することが多くなる一方で，労働力再生の場＝「安息の場」である「家庭」は「主婦」である女性が担うものであり，「子育て」は女性特有の役割であるかのようにされてきたというお話を，豊富な資料を示しながら分かりやすく解説。親，社会が子どものいのちをつないできた中に現在があるということをしっかりと受け止め，私たちが次の世代にどんな社会を残していくのかという課題をふまえて「今」を充実させることが大切だと教示していただきました。

さまざまな資料の中では，明治・大正期の家庭を描いた絵画作品には男が登場しないこと，ももたろう民話を描いた江戸期の絵には，出産に男性が深くかかわっている様子がうかがえることなどが強く印象に残りました。「捨て子」にまつわる資料でも，痛ましい状況の中でも，親の子に対する強い愛情や，個人でなく社会の中で子どもたちを皆で育てていこうという当時の民衆の意欲を感じました。

現在，男性も子育てにとりくもうというような気風は学校職場などでは以前よりずいぶん高まっているように感じられます。若い男性教員が気軽に休暇をとって子どもの行事に参加するような姿もごく普通になっていますが，一方で，岡山市の待機児童の数は依然として全国第 2 位だという報道も大きくされています。わが地域も含め，子育て・教育の条件整備のとりくみがますます重要になっていることを今回の講演会がより深く示してくれたと言えるでしょう。



連　載

無謀な世界一人旅（第３回）
～夢を追い続けて～

備南支部　正保 宏文

Rye で降り，駅前に観光センターでもあるのではと，探してみたが，残念なことに，そんなものはなかった。駅舎に戻って，パンフでもないかと２つばかり手にしてみたが，どちらも小生が求めるものではなかった。すると紳士的な男性が別のパンフのありかを教えてくれた。英語の地図だった。NY でへまをした自分が悔やまれる。英語の地図でもないよりはましだと，気を取り直し，それを見ながら Rye の街を散策。

10 人ほどの陽気な Rye の中年の男女が，民族衣装を着てダンスを踊っているのに出くわす。見ているだけで楽しい。これが Rye 流のおもてなしかもしれないと思う。その後，ST MARY`S CHURCH に行く。古い歴史のある教会なので，ステンドグラスが美しい。

2.5 ポンド（約 400 円）払って，教会の塔へ上った。中世の Rye の街が絵本の中にでも出てくるような，なんといっていいかわからないほど美しく輝いて見えた。はるか東方には，大西洋が横たわり，眼下には，中世の街が優しく語りかけてくる。まったりとした非日常的なスローな時間が流れていく。空気はどこまでも澄み，非常においしい。しかも，塔の上にいる時だけは，太陽が機嫌よく顔を出してくれていた。ずっとここで景色を楽しんでいたい気持ちになったが，いつまでもじっとしているわけにはいかないので，教会に別れを告げた。その後，カフェで昼食，デザートにアップルパイを頼んだら，その一切れの大きいこと・・・。しかも温めてあったので二度びっくり。残したらもったいないので，苦行をするつもりで平らげる。おいしさを通り越して，お腹が苦しいほどいっぱいになった。こんなところで貧乏根性が出るのは，我ながら情けなかった。

昼食後，腹ごなしを兼ねて再度，Rye をよく見ておこうともう一回りすることにした。これが一人旅の良さだ。気軽に誰にも遠慮することなく気ままに動けるのだ。はるか向こうに海が見える景色の良いところで，スローライフを体験すべく，ベンチでボケーと読書。ゆっくり，まったりとしたなかで本を読み終えて，駅に向かう。少し早目の帰還だが，痛風の足にも良いと判断。Rye 駅に着くと，Acistance Point という見慣れないものを発見。緊急電話ができるようになっている。痴漢除けかもしれない。紳士の国でも痴漢が多いのか…！？　妙に納得した自分がそこにいた。ロンドン行きの列車に乗ると，20 歳前後と思われる見目麗しい若い女性の姿があった。小生は，車窓から見える景色に目をやっていたが，時々彼女の方に目をやるとその女性は，ずっと携帯で遊んでいた。すると，最初は可愛いと思っていたその女性が不美人に見えてきたから不思議だ。

チャーリング・クロス駅下車後，テームズ川に架かるロンドン橋を歩いてみた。西のほうには，ビッグベンやウェスト・ミンスター寺院が見えた。神戸の女子大生が行ってみたらと勧めてくれたナショナル・ギャラリー前のトラファルガー広場では，多くの人だかりがあり，ストリート・ダンスや大道芸が行われていた。そこで列車の中で見かけた女性が若いイケメンの男性を連れていた。その女性の左手首を何気なく見たら，ハートの入れ墨をしていた。興ざめであった。将来お

ばあちゃんになった彼女を想像するとハートのマークはいかがなものかと笑えてきた。でもこれがイギリス流なのだ。自然なままが一番美しいと考えるのは，古臭いのだろうか。もてない男のひがみなのかもしれない。

観客はいろいろなパフォーマンスを楽しみ，特に気に入った場合はなにがしかのお金を空き缶に入れていた。小生は楽しんだだけで，お金は入れなかった。何となくウキウキした気分になったので，地図とコンパスを頼りにホテルまで歩くことにした。地下鉄利用だと乗り換えが必要だが，自分の足ならば，景色もよく見え，ロンドンの街を味わうことができる。旅は歩くことが基本だ。（つづく）

編集後記

高退教事務局の一員に加えていただき、「会報」担当を仰せつかって五年を過ぎますが、実は「編集後記」なるものを書くのは初めてです。というのも，私の担当の号は，いつも「事務局だより」と「目次」の最終仕上げは，藤原事務局長におんぶにダッコでした（汗）。今回，成り行きで，ついに編集後記デビュー。プレッシャー大です＊多彩な記事を寄せていただきました。まずは，清水さんの「青春の軌跡」。私たち自身も「青春」の頃に観て、心を揺さぶられた映画でした。登場人物として，懐かしい方々の若かりし日の姿に再会できるのも，感慨深いことでした。＊「メガソーラー」問題。私ごとですが，郷里の知己に「大変なことになってるから見に来て」と誘われて、無残なはげ山の光景を見せられたのは、この夏のこと。ショックでした。その時、現地を案内してくださった岡本さんに、無理を言って原稿をお願いしました。クリーンエネルギーの名で自然破壊が進む？考えさせられます＊三つの教育講演会の概要を，特集でご紹介しました。編集担当が出しゃばって 2 本も記事を載せるなどもってのほかですが，これも，自転車操業のなせるわざ。お許しください。美甘さんには、教育文化センター情宣紙に掲載された文章の転載を快諾いただきました＊正保さんの連載記事。楽しい旅日記は，ヨーロッパを舞台になお続きます。次回もお楽しみに。＊追伸。高退教の HP。アドレスは、下記の通り。高教組のリンクページからもアクセスできます。覗いてみてください。(山本記)

http://www.urban.ne.jp/home/okakokyo/kotaikyo/index.html